

記 載 例

令和 7 年 4 月 1 日

平川市長 様

申請書の提出年月日を記入

申請者 住 所 平川市柏木町藤山 2 5 - 6
氏 名 平 川 太 郎
電話番号 0172-44-1111

住所、氏名、連絡のとれる電話番号を記入

平川市老朽危険空家等解体撤去補助金交付申請書

令和 7 年度平川市老朽危険空家等解体撤去補助金の交付を受けたいので、平川市老朽危険空家等解体撤去補助金交付要綱第 8 条の規定により、下記のとおり関係書類を添えて申請します。

記

1 補 助 申 請 額 金 5 0 0 , 0 0 0 円

2 事 業 計 画 書 (別紙のとおり)

3 収 支 予 算 書 (別紙のとおり)

4 その他の関係書類

解体撤去費の 1/2（千円未満切り捨て）若しくは、
・ 特定空家、倒壊空家、老朽危険空家（不良度 100 点以上）は
限度額 500,000 円
・ 老朽危険空家（不良度 50 点以上 100 点未満）は
限度額 250,000 円
(収支予算書の補助金額と同額)

【市記載欄】

種 別
☐ 1. 特定空家
☐ 2. 倒壊空家
☐ 3. 老朽危険空家 不良度 100 点以上
☐ 4. 老朽危険空家 不良度 50 点以上 100 点未満

事業計画書

事業の名称		平川市老朽危険空家等解体撤去補助金	
対象となる建築物	空家所在地	平川市猿賀南田 1 5 - 1 ※空家の所在地番を記入	
	空家所有者	(氏名) 平 川 太 郎 (住所) 平川市柏木町藤山 2 5 - 6 ※原則、登記簿上の所有者を記入 所有者が死亡している場合は氏名の後に (亡) と記入	
	土地所有者	(氏名) 平 川 太 郎 (住所) 平川市柏木町藤山 2 5 - 6 ※原則、登記簿上の所有者を記入 所有者が死亡している場合は氏名の後に (亡) と記入	
	構 造	木造 ・ 鉄骨造 ・ 鉄筋コンクリート ・ その他 () ※該当項目に○印	
	床 面 積	延べ床面積 1 3 2 平方メートル ※床面積を記入	
	建 築 年	昭和 5 6 年ごろ ・ 建築年不明 ※建築年を記入	
	空家になった時期	昭和 平成 2 5 年 4 月ごろから ※住まなくなった時期を記入	
事業期間		令和 7 年 6 月 2 6 日～令和 7 年 9 月 2 4 日 ※書類審査に 1 ～ 2 週間要しますので、期間を空けてください。	
施工業者の業者名 業者の所在地		業者名：〇〇建設 所在地：平川市碓ヶ関三笠山 7 8 施工業者名を記入	
添 付 書 類		(申請者全員必要な書類) ☒ 1. 空家等の位置図 ☒ 2. 工事業者からの見積書 ☒ 3. 空家等の現況写真 ☒ 4. 補助申請者の住民票謄本 ☒ 5. 対象空家等の最新の登記事項証明書 (未登記の場合は固定資産税納税通知書の写し等) 提出書類をチェック	
		(該当する場合のみ必要な書類) ☐ 6. 戸籍謄本等 (建物所有者が死亡しており、その法定相続人が申請をする場合) ☐ 7. 委任状 (申請手続きを代理人が行う場合) ☐ 8. 同意書 (建物と土地の所有者が異なる場合) ☐ 9. 確約書 (必要な条件に該当する場合) ☐ 10. 代理受領 (予定・変更) 届出書 (様式第 1 0 号) (代理受領による場合に限る) ☐ 11. その他関係資料 ()	

【同意事項】

本補助金交付申請書及び添付書類（以下、「本申請書類」という。）の審査のため、市が私の住民基本台帳及び課税状況等について確認することに同意します。

（申請者） 氏名 平 川 太 郎

同意事項に同意する場合は記名
（※記名がない場合は、受付できません。）

【確認事項】

私は、平川市老朽危険空家等解体撤去補助金の制度内容をすべて確認した上で、本申請書類を市へ提出します。

（市の審査で、本申請書類に不足書類や制度内容に合わない事項が判明した場合、制度内容に合った書類を確認できるまでは、補助金交付決定ができません。）

（申請者） 氏名 平 川 太 郎

確認事項を了承する場合は記名
（※記名がない場合は、受付できません。）

収 支 予 算 書

1 収入の部

(単位 : 円)

科 目	予 算 額	説 明
補助金	500,000	解体撤去費×1/2 (上限 500,000 円)
自己資金	700,000	解体撤去費から補助金を差し引いた残額を記入
計	1,200,000	

2 支出の部

(単位 : 円)

科 目	予 算 額	説 明
解体撤去費	1,200,000	施工業者からの見積額を記入
計	1,200,000	